

# News Release

ラッセル・インベストメント・グループ

発信日: 2006年6月14日

## ラッセルが日本株マルチ・マネージャー・ファンドの運用会社に ピクテとアライアンスを採用

ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社(本社:東京都港区)は、同社が設定・運用管理しているマルチ・マネージャー・ファンドの「ラッセル 日本株式マザーファンド」において、2006年6月14日付けで、グロース型担当の運用会社としてピクテ投信投資顧問株式会社(以下「ピクテ」)、バリュー型担当の運用会社としてアライアンス・バーンスタイン・エル・ピー(以下「アライアンス」)の2社を新たに採用いたしました。今後当該ファンドは、グロース型2社、バリュー型3社、マーケット・オリエンテッド型1社の計6社\*体制で運用してまいります。(下表参照)

### <「ラッセル 日本株式マザーファンド」の外部委託運用会社構成>

運用会社	運用スタイル	目標配分比率
JP モルガン	グロース型	26%
ピクテ	グロース型	10%
ソシエテ・ジェネラル	バリュー型	17%
T&D アセット	バリュー型	12%
アライアンス・バーンスタイン	バリュー型	15%
パークレイズ	マーケット・オリエンテッド型	20%

\* ラッセル・インベストメント・グループ内の関連会社を除く外部運用委託先の数を指しています。

\*\* 個々の運用会社の運用手法を指し、運用会社によっては複数所有しているところもあります。

ピクテおよびアライアンスはともに、ラッセル・インベストメント・グループの運用会社調査チームが高い評価を与えている運用会社です。

ピクテの運用哲学は、企業の成長性の中にこそ収益獲得機会があるとの信念に基づき、綿密な企業調査を行うことで魅力的な投資機会を発掘するというものです。運用チームは小規模ですが、長い経験を有するアナリストが、対象企業のみならず競合他社等を含め、詳細かつ効率的な企業調査を行います。同社のアナリストは年間延べ1,600回以上にもおよぶ企業訪問をこなし、収益成長の鍵となる要素や今後の見通し、何が現在の市場価格に織り込まれているかを見極めます。同社は外部のアナリストがあまり注目していないニッチな中・小型銘柄やテクノロジー関連銘柄などの調査に強みを持っています。その結果、グロース型運用全体としてより企業規模や業種の分散が図れるとともに、超過収益獲得機会の拡大が期待できます。

アライアンスのバリュー株式運用は、綿密でかつ質の高い企業調査とクオンツ・モデルを併用し、現在の株価と本質的な企業価値の差を捉えることにより超過収益の獲得を目指すというものです。クオンツ・モデルを用いた業種内及びグローバル・セクター間での相対バリュエーション(投資価値)比較により銘柄を選別、更にアナリストが詳細な調査に基づき長期の収益およびパフォーマンスを予想、割安に放置されている銘柄を見出します。同社の銘柄選択プロセスは既に当ファンドで採用している2社のバリュー型の運用会社のそれとは異なることから、プロセスの分散が期待できます。

今回、これら2社を新規に採用することにより、更なるプロセスやリスクの分散を図ると同時に、安定的な高い超過収益獲得を目指します。



### ◎当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料はラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社が一般的な情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料でご紹介するサービスには、投資信託が含まれます。投資信託は、元金が保証されているものではありません。また、投資信託には手数料等の諸費用がかかります。後述の『投資信託にかかる主な留意事項』をお読みください。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料中「ラッセル・インベストメント・グループ」および「ラッセル」は、フランク・ラッセル・カンパニーおよびその子会社等の総称です。
- ラッセルによる事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮ください。

### ◎投資信託にかかる主な留意事項

- 投資信託は、株式および公社債等値動きのある証券に投資しますので、組入株式や組入公社債等の価格の下落ならびにそれらの発行会社の倒産または財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え外貨建資産を保有する場合、外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、基準価額が下落し損失を被ることがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは投資信託をご購入のお客様が負います。
- リスクは上記に限定されるものではありません。投資信託の取得のお申し込みにあたっては、必ず当該商品の投資信託説明書(目論見書)を販売会社でお受け取りになり、「投資リスクおよび留意点」等、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 投資信託には、「お申込み時」、「ご換金時」、「保有期間中」にご負担いただく手数料等の諸費用が発生します。費用は投資信託によって異なります。詳しくは、当社までお問い合わせください。
- 投資信託は、預金、保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 金融商品取引業者以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 196 号

加入協会 日本証券業協会、(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問協会